

令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	簡易水道施設単独災害復旧事業	会計名称	簡易水道特別会計		担当課	水道課	
		予算科目	4 款 1 項 1 目	事業番号	8380	所属長名	野島康博
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	立田忍	
法令根拠等	水道法				実施期間	【開始】	令和/平成 30 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 潤いのある水環境づくり					【終了】	令和 1 年度(予定) <input type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	潤いのある水環境づくりにおいて、水道施設の更新及び改修を行うことにより、安全で安心できる水道水の供給を行う。						
事業の対象	永木簡易水道 (梅原第2配水池) 利用者			事業の目的	7月豪雨により市道が崩落したことに伴い、永木簡易水道の配水管 (塩化ビニル管φ75mm) が破損したため、今般、道路復旧工事に伴い、配水管 (ポリエチレン管EFφ75mm) にて復旧するものである。		
事業の内容 (整備内容)	配水管布設工 ポリエチレン管EFφ75mm L=40m			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1年度予定	9月末の実績	1年度実績
直接事業費	0	980	0	0	0	886	災害復旧費	千円	0	886	0	886
財源内訳												
国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0						
一般財源	0	980	0	0	0	886						
職員の人工 (にんく) 数	0.04	0.08				0.08						
1人工当たりの人件費単価	7,982	7,992				7,992						
※ 直接事業費+人件費	319	1,619				1,525						
主な実施主体	直接実施		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)									
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	5年間の合計		
										0		
成果指標	指標	実施数量のみを記載する。			単位	区分年度	前 年度	1 年度	- 年度	目標 1 年度		
	指標設定の考え方	復旧工事であり、成果指数の設定は困難である。			⇒	目標						
	指標で表せない効果	市道の崩落と共に破損した水道管を仮設管から本管に復旧することで、利用者に安心安全な飲料水を供給する。				実績	0	886				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		水道復旧工事として道路災害復旧工事のなかで対応出来なかったのが今後の検討課題である。									
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点	道路災害復旧工事と連携し効率的な事業のコスト削減を図っていく。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4						
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	3						
	効率的	手段の最適性	活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の苦勞した点・課題	道路災害復旧工事の遅延により工期延長を余儀なくされた。			
			投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	4							
		コスト効率	5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	4							
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	4								
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			A	事業の方向性	<input type="checkbox"/> 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input checked="" type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 災害復旧のための事業であり、事業終了につき廃止と判断する。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4						
市の関与の妥当性			5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	4							
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4							
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3							
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	4							
効率的	手段の最適性	活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	所屬長の課題認識	水道管の災害復旧は、道路等の災害復旧工事が進捗しないと着工もできない状況になるため、関係部署との連携を密にする必要がある。場合によっては、発注形態の方法や時期についても検討が必要である。				
		投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	4								
	コスト効率	5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	4								
市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	4									

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	